



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

令和3年度

大学院副専攻プログラム 大学院等高度副プログラム

Graduate Minor Program/
Graduate Program for Advanced Interdisciplinary Studies

専門知識に
新しい翼を。



For the English version,
please scan the following
QR cord.

専門を生かす、 専門外の学びを。

知識基盤社会の到来とともに、大学院教育に対する期待は年々高まり、また多様性を増してきています。このような社会情勢において、社会の課題を解決し、維持・発展させていくためには、これまでのようなアカデミアにおける研究を推進するだけではなく、イノベーションの創出やSDGsに代表されるような、複雑な課題を解決する資質を有した高度な人材の育成を担う大学院教育が求められています。大阪大学ではこのような認識のもと、総合大学としての強みを活かし、多様性ある、また柔軟なカリキュラムを提供できるような大学院教育改革「学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム、“Double-Wing Academic Architecture(以下 DWAA)”」を令和3年4月より新たに開始しました。



Double-Wing Academic Architecture 概念図



本冊子において紹介する大学院副専攻プログラム、大学院等高度副プログラムはDWAAにおける「新たな知識や技術の組み合わせを試みる創造的な『知と知の融合』」、「社会の中にある課題を発見し、解決方法を創造し、さらに社会に実装する『社会と知の統合』」の実現を目指すプログラムとして位置付けているものです。みなさんがプログラムを受講し、更に飛躍されることを期待しています。

田中 敏宏 統括理事 (教育研究、総務担当) (印) 中 敏 宏

これからの社会が求める人材の育成



俯瞰的
視野



複眼的
視点



体系的
思考



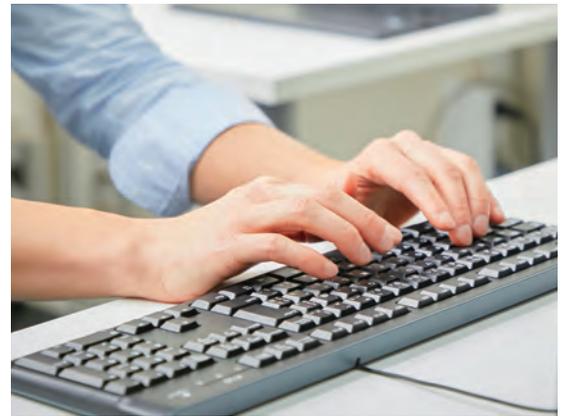
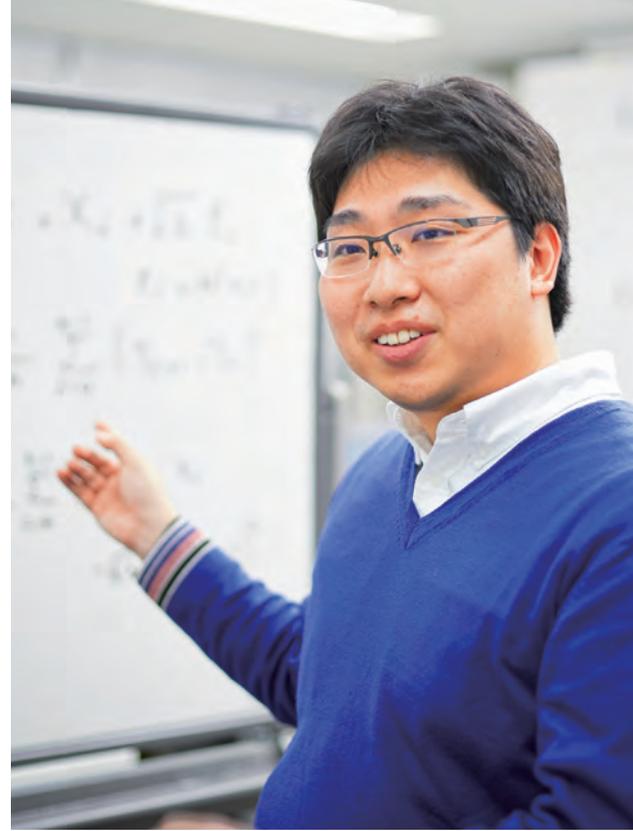
主体的
行動

Overview

「大学院副専攻プログラム」「大学院等高度副プログラム」は、複眼的・俯瞰的な視点を効果的に身につけるために、ある学問テーマに沿った授業科目を体系的に構成した教育プログラムです。学生は、主体的に関心のあるプログラムを受講する中で、異なる専門の教員や学生とともに、実社会や学問の最先端の課題に触れていくことができます。プログラムが定める要件を満たすことで、修了認定証が交付されます。

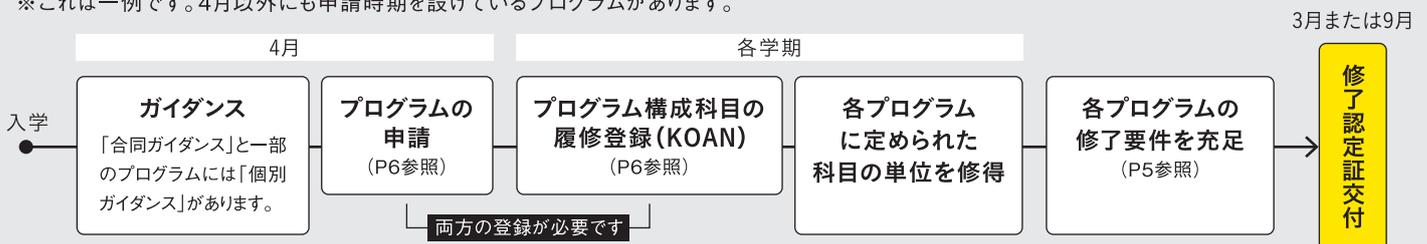


詳細はこちらを
ご覧ください
<http://osku.jp/b0267>



プログラム申請から修了までの流れ

※これは一例です。4月以外にも申請時期を設けているプログラムがあります。



もう一つの専門としてしっかり深く学びたい。

大学院副専攻プログラム

修了要件 **14** 単位以上、**18** プログラム

多種多様なプログラムから、自分の専門を生かすためのものを選び、体系的に学修したい。

大学院等高度副プログラム

修了要件 **7** 単位以上、**42** プログラム



履修者の声を 聞いてみました。

実際にプログラムを履修した先輩に、履修の理由や良かった点、大変だったことなどをホンネで語ってもらいました。

Q.3 プログラムで得た知識や 経験は今後どのように 活かせると思いますか？

- 汎用性のある内容が多く、
就職後の業務に直結する学び だった。
- 課題にぶつかったとき、専門分野だけでなく、
様々な視点から試行錯誤する
ことができると思う。
- 自分の研究内容をさらに充実させるための
実験手技や考え方に導入したい。

Q.4 プログラムの履修で 苦労したことは何ですか？

- 受講に時間が取られ、
自分の研究との両立に苦労した。
- 聴講しているだけという座学の授業はなく、
毎回出される **事前課題にも時間が取られた。**
- 研究が好きで、**自分の専門に何か役立つと考えた**
ので大変なことはなかった。



Q.1 プログラムを履修しようと思った理由は?

- **専門を応用できる学び**だと先生に勧められたから。
- 仕事に就いてからを考えたとき、**より幅広い視野で自分の専門を見つめることが重要**だと思い決めました。

Q.2 プログラムを通してどんな経験ができましたか?

- 様々な分野の教授や学生、そして社会で活躍する方と**面識および交流ができた。**
- 幅広い分野の**最新動向を知ることができた。**
- 自分の専門とその他の分野との関わりを知り、**多面的に物事を見る必要があると気付いた。**

Q.5 苦勞を乗り越えるためにどんなことをしましたか?

- **事前に綿密なスケジュールを立てた。**
- **意欲的な受講生たちに囲まれていた**ので、自分も常にモチベーション高く臨めた。
- **「なぜ本プログラムを受講したのか」**という原点に立ち返ることで、自らを奮い立たせた。

Q.6 これから履修を検討する人に対して、メッセージをお願いします。

- 分野の垣根を越えて、**新たな知識や経験、新たな出会い**のきっかけとなるので、ぜひ履修を検討してみてください。
- 自分の専門スキルを社会につなげたいと考えている人にとって、**履修する価値は大いにある**と思います。
- 研究スキルを高めるだけでなく、コミュニケーション力やスケジュール管理など**様々な能力が身につけられる**ので、多くのことを学ぼう!



履修要項

■履修対象者

大阪大学大学院学生(科目等履修生・特別聴講学生を除く)

ただし、高度副プログラムの一部は、本学6年制課程の学部(医学部・歯学部・薬学部)の5、6年次学生も含まれます。

■プログラムの修了要件

プログラムを修了するには、以下の条件を満たす必要があります。

- ①プログラムの受講学生として、当該プログラムが定める方法により登録手続きを完了していること。
- ②プログラムが定める授業科目から、**副専攻プログラムの場合は14単位以上、高度副プログラムの場合は、7単位以上**を修得していること。
- ③プログラムが定めた修了要件を満たしていること。

※プログラムを修了した方に対して、修了認定証を交付します。

交付は所属する研究科の教務担当係より、原則「3月末」もしくは「9月末」に行われます。

なお、それ以外の時期に課程修了や退学をする場合はプログラム実施部局にお知らせください。

■プログラム申請前の修得単位の取扱い

プログラムの申請以前に、プログラムで定める授業科目の単位を既に修得している場合は、プログラムの修了要件単位として認定されることがあります。詳細については各プログラム実施部局にお問い合わせください。

■プログラム受講開始時の手続き

プログラムを受講するには<プログラムの申請>および<プログラム授業科目の履修登録>の両方が必要です。

・プログラムの申請、履修登録

KOANで行う場合 ……次ページを参照してください。

KOAN【以外】で行う場合 ……各プログラムが発行する冊子やホームページを参照してください。

令和3年度春学期 KOANによるプログラム申請登録期間

令和3年**4月8日(木)12時**～**4月16日(金)13時**

各プログラムの授業科目履修登録期間

所属研究科が開講している授業科目 ……所属研究科が定めた履修登録期間

所属研究科【以外】が開講している授業科目 ……令和3年**4月8日(木)12時**～**4月16日(金)13時**

※上記期間は、令和3年度 春、夏、春～夏学期、通年科目を履修する場合です。

※以降、毎学期ごとに定められる期間内に履修登録を行ってください。

■KOANの操作方法について

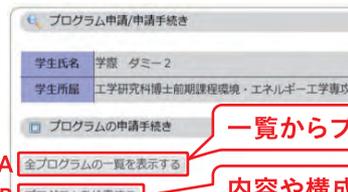
KOANの「プログラム申請」システムで申請受付を行うプログラムの場合、操作方法は以下のとおりです。なお、「プログラム申請」システム以外の方法で申請受付を行うプログラムもありますので、「プログラム申請」のプログラム詳細画面や各プログラムが発行する案内冊子、ホームページ等で確認してください。

1.<ログイン>

KOANにログインし、 から「プログラム申請」に入る。

2.<興味のあるプログラムを選択>

AまたはBをクリックして、検索を行い、興味のあるプログラムを選択する。



一覧からプログラムを選択します。

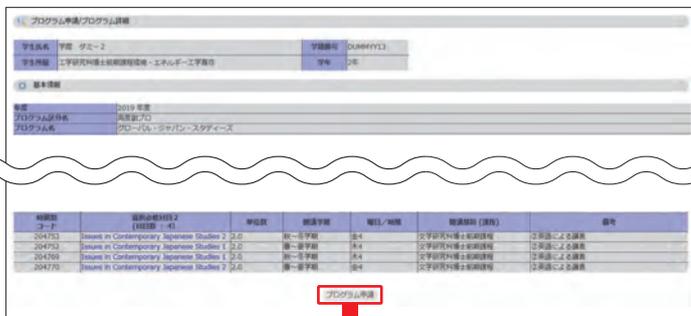
A 全プログラムの一覧を表示する

B プログラムを検索する

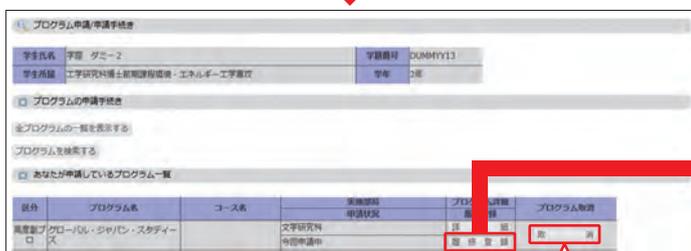
内容や構成科目からプログラムを検索します。

3.<プログラムの内容を確認し、受講申請>

プログラムの詳細画面の最下部にある「プログラム申請」ボタンをクリックして、受講申請は完了。



プログラム申請



プログラム申請期間中はいつでも申請の取消が可能です。

4.<プログラム科目の履修登録>

あなたの時間割とプログラムの時間割を見比べながら履修登録することが可能です。



あなたの時間割

プログラムの時間割

構成科目一覧

クリックして履修登録すると「あなたの時間割」に反映されます。

専門を生かす、
専門外の学びを。

令和3年度

大阪大学

大学院副専攻プログラム

大学院等高度副プログラム

オンライン合同ガイダンス

Graduate Minor Program,
Graduate Program for Advanced Interdisciplinary Studies Joint Guidance

ガイダンスWebサイト開設日

The guidance website is available from March 25th.

3月25日(木)

March 25th, Thu.

URL <http://osku.jp/h0900>



オンライン合同ガイダンスでは
プログラム担当者に質問することができます!



対象：大学院生／6年制の学部5・6年次生

副専攻・高度副プログラムとは、大学院生が自分の専門とは異なる
教員や学生と共に学問を体系的に学ぶことができる教育プログラムです。

対象は全大学院生・一部のプログラムは学部5・6年次も含まれます。



令和3年度 大阪大学 副専攻プログラム・ 高度副プログラム一覧

各プログラムの説明ページは、下記URLよりご参照ください。
<http://osku.jp/p0646>



	プログラム名称	プログラム実施部局	履修対象者	DWAA分類	申請方法	説明会情報	
						オンライン合同ガイダンス	左記以外の開催予定 (詳細は各プログラム説明ページ参照)
1	未来共生プログラム	人間科学研究科	M・D	社会	別途申請	○	
2	麻酔管理科学プログラム	医学系研究科 (保健学専攻)	M・D	知	別途申請		
3	量子エンジニアリングデザイン 研究特別プログラム	工学研究科	M	知	KOAN		
4	トランスカルチャーの技法	言語文化研究科 (言語社会専攻)	M・D	社会	KOAN	○	
5	グローバルリーダーシップ・プログラム	国際公共政策研究科	M	社会	KOAN	○	
6	金融・保険	数理・データ科学 教育研究センター	M・D	知	KOAN	○	4月上旬
7	ナノサイエンス・ナノテクノロジー 高度学際教育研究訓練プログラム (博士前期課程高度学際教育副専攻プログラム)	ナノサイエンス デザイン教育研究 センター	M	社会	KOAN	○	4月上旬
8	ナノサイエンス・ナノテクノロジー 高度学際教育研究訓練プログラム (博士後期課程副専攻プログラム)	ナノサイエンス デザイン教育研究 センター	D	社会	KOAN	○	5月上旬
9	知的財産法を修得した人材育成	知的基盤総合センター	M・D	社会	KOAN	○	4月上旬
10	超域イノベーション副専攻プログラム	国際共創大学院 学位プログラム 推進機構	M・D	社会	別途申請	○	
11	公共圏における科学技術政策	COデザインセンター	M・D	社会	別途申請	○	4月上旬
12	人文学(グローバル・アジア・スタディーズ) (マルチリンガル・エキスパート養成プログラム)	文学研究科	M	知	別途申請		
13	人文学(グローバル・ユーロ・スタディーズ) (マルチリンガル・エキスパート養成プログラム)	文学研究科	M	知	別途申請		
14	人間科学(共生の生態) (マルチリンガル・エキスパート養成プログラム)	人間科学研究科	M	知	別途申請		
15	法学・政治学 (マルチリンガル・エキスパート養成プログラム)	法学研究科	M	知	別途申請		
16	経済学・経営学 (マルチリンガル・エキスパート養成プログラム)	経済学研究科	M	知	別途申請		
17	言語文化学 (マルチリンガル・エキスパート養成プログラム)	言語文化研究科 (言語社会専攻)	M	知	別途申請		
18	国際公共政策学 (マルチリンガル・エキスパート養成プログラム)	国際公共政策研究科	M	知	別途申請		

履修対象者

■ B5、6
6年生課程の学部(医学部・歯学部・薬学部)の5、6年次

■ M
博士前期課程・修士課程・生命機能研究科の博士課程
1、2年次・法科大学院の課程

■ D
博士後期課程・博士課程・生命機能研究科の博士課程
3年次以上

各プログラムの説明ページは、右記URLよりご参照ください。 <http://osku.jp/p0646>



DWAA分類

知……………知と知の融合
社会………社会と知の統合

	プログラム名称	プログラム実施部局	履修対象者	DWAA分類	申請方法	説明会情報	
						オンライン合同ガイダンス	左記以外の開催予定 (詳細は各プログラム説明ページ参照)
1	グローバル・ジャパン・スタディーズ	文学研究科	M・D	知	KOAN	○	日程未定
2	グローバルヒストリー	文学研究科	M・D	知	KOAN	○	
3	大学マネジメント力養成・向上プログラム	人間科学研究科	M・D	知	KOAN	○	
4	ユネスコチェア「グローバル時代の健康と教育～健康のための社会デザイン～」	人間科学研究科	B5、6・M・D	知	KOAN	○	
5	基礎理学計測学	理学研究科	M・D	知	KOAN	○	
6	健康医療問題解決能力の涵養	医学系研究科 (医科学専攻)	M・D	社会	KOAN		
7	スポーツ医科学研究プログラム	医学系研究科 (医科学専攻)	M・D	知	KOAN	○	
8	健康・医療イノベーションプログラム	医学系研究科 (医科学専攻)	M・D	知	KOAN	○	
9	医学倫理・研究ガバナンスプログラム	医学系研究科 (医科学専攻)	M・D	社会	KOAN	○	4月上旬
10	高度がん医療人材育成プログラム	医学系研究科 (保健学専攻)	M・D	知	KOAN		
11	麻酔管理教育プログラム	医学系研究科 (保健学専攻)	M・D	知	別途申請		
12	まちづくりデザイン学	工学研究科	M	知	KOAN	○	プログラム説明ページ参照
13	安全なデータ利活用のためのセキュリティ人材育成プログラム	工学研究科	M・D	社会	KOAN	○	日程未定
14	科学技術をイノベーションにつなぐために	工学研究科	M・D	社会	KOAN		4月上旬
15	高度溶接技術者プログラム	工学研究科	M・D	社会	KOAN	○	
16	DSデータ科学	基礎工学研究科	M・D	社会	KOAN	○	4月上旬
17	デジタルヒューマニティーズ:分析方法論と実践	言語文化研究科 (言語文化専攻)	M・D	知	KOAN	○	
18	世界の言語文化とグローバル化	言語文化研究科 (言語文化専攻)	M・D	知	KOAN	○	
19	言語学	言語文化研究科 (言語文化専攻)	M・D	知	KOAN	○	
20	グローバル地域研究	言語文化研究科 (言語社会専攻)	M・D	知	KOAN	○	
21	グローバルリーダーシップ・プログラム	国際公共政策研究科	M	社会	KOAN	○	
22	ヒューマンウェアイノベーション副プログラム	情報科学研究科	M・D	知	別途申請	○	
23	感染症学免疫学融合プログラム	微生物病研究所	D	知	KOAN	○	4月6日(火) 10:30~11:00
24	インターカルチュラル・コミュニケーションの理論と実践	国際教育交流センター	M・D	知	KOAN	○	各授業の初日

	プログラム名称	プログラム実施部局	履修対象者	DWAA分類	申請方法	説明会情報	
						オンライン合同ガイダンス	左記以外の開催予定 (詳細は各プログラム説明ページ参照)
25	予測社会医学プロフェッショナル育成	国際医工情報センター	M・D	社会	KOAN	○	
26	メディカルデバイスデザイン	国際医工情報センター	M・D	社会	KOAN	○	
27	バイオメディカルインフォマティクス	国際医工情報センター	M・D	知	KOAN	○	
28	バイオマテリアル学	国際医工情報センター	M・D	知	KOAN	○	
29	データ科学	数理・データ科学教育研究センター	M・D	知	KOAN	○	4月上旬
30	数理モデル	数理・データ科学教育研究センター	M・D	知	KOAN	○	4月上旬
31	トランスカルチャーの技法	グローバルイニシアティブセンター	B5、6・M・D	社会	KOAN		
32	ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム(博士前期課程高度学際教育)	ナノサイエンスデザイン教育研究センター	M	社会	KOAN	○	4月上旬
33	ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム(博士後期課程教育研究訓練プログラム)	ナノサイエンスデザイン教育研究センター	D	社会	KOAN	○	5月上旬
34	ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム(後期課程社会人ナノ理工学特別コース)	ナノサイエンスデザイン教育研究センター	D	社会	別途申請		
35	ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム(博士後期課程社会人特別選抜)	ナノサイエンスデザイン教育研究センター	D	知	KOAN	○	4月上旬
36	知的財産法を修得した人材育成	知的基盤総合センター	M・D	社会	KOAN	○	4月上旬
37	超域イノベーション高度副プログラム	国際共創大学院学位プログラム推進機構	M・D	社会	別途申請	○	
38	放射線科学	放射線科学基盤機構	M・D	知	KOAN	○	
39	未来の大学教員養成プログラム	全学教育推進機構(大学院)	M・D	知	別途申請	○	
40	公共圏における科学技術政策	COデザインセンター	M・D	社会	KOAN	○	4月上旬
41	ソーシャルデザイン	COデザインセンター	B5、6・M・D	社会	別途申請		
42	社会の臨床	COデザインセンター	B5、6・M・D	社会	KOAN	○	4月上旬